

2025年度

法政大学教職課程センター主催
シンポジウム

日本語を母語としない

子どもたちの支援

高校進学・卒業の ステップをなだらかに

保護者の就労等を理由に、日本に移り住んで暮らす、日本語を母語としない外国籍の子どもたちが、都市部を中心に近年急増しています。東京都立高校では不合格者数が大幅増加し、「在京外国人枠」を拡大しましたが、対策はまだ不十分です。

高校受験では、日本語学習や情報収集の面で非常に高いハードルがあります。その先の高校生活を継続し卒業することも、必ずしも容易ではありません。

この状況をどのように捉え、対処すべきでしょうか。

都立高校で外国籍の生徒の指導・支援に長く関わってきた角田仁先生を講師に迎え、私たちが考えるべきこと、できることを議論します。

高校卒業

高校入学

中学卒業

Contents

日時: 2025年11月21日(金) 開会:17時15分(開場:17時) 閉会:19時00分

場所: 法政大学市ヶ谷キャンパス 大内山校舎8階 Y803教室 ※Zoom同時配信

17:15 開会の辞 松尾 知明(法政大学教職課程センター長、キャリアデザイン学部教授)

17:20 角田 仁(東京都立町田高等学校定時制教諭)

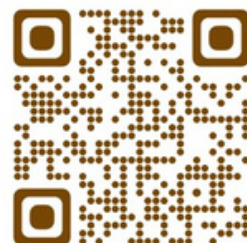
「外国につながる高校生たちと出会って—高校教育の課題と可能性、定時制高校の現場から—」

18:00 松尾 知明・渡部 忠治(法政大学兼任講師)によるコメント

18:20 フロアからの質疑応答

18:50 閉会の辞 筒井 美紀(法政大学キャリアデザイン学部教授)

予約用QRコード



Google Formによる事前予約制: <https://forms.gle/6QiFX9h3TZjWdPYf8>

※対面かZoom参加をご選択ください。対面参加の場合、閉会後に意見交換会を行います。

ご都合のつく方は奮ってご参加ください。

講演者・コメンテーター紹介

講演者 角田 仁（つのだ ひとし）

東京都立高等学校教諭、文科省外国人児童生徒等教育アドバイザー。定時制高校に主に勤務。多文化共生、カリキュラム改革、高校中退、進路保障等の課題に学校外の人たちと連携・協働して取り組む。共著書に、定時制高校での部活動「ONE WORLD」の実践に関する『外国につながる若者をつくる多文化共生の未来』（明石書店）がある。多文化共生教育ネットワーク東京等に所属。

コメンテーター 松尾 知明（まつお ともあき）

法政大学教職課程センター長、キャリアデザイン学部教授。国立教育政策研究所総括研究官等を経て現職。専門は、多文化教育とカリキュラム。著書に『改訂新版 多文化共生のためのテキストブック』『日本型多文化教育とは何か』『多文化クラスの授業デザイン』『「移民時代」の多文化共生論』『多文化教育の国際比較』（明石書店）等がある。

コメンテーター 渡部 忠治（わたなべ ただはる）

法政大学兼任講師。民主的な人格形成としての教育について子どもの権利や差別、社会的弱者の視点から探求中。論文として、「在日問題と戦後の教育学」（『教育』）、「『平和的な国家及び社会』をめざす憲法学習のために—憲法の国民主義を考える—」（『平和教育』）がある。『現代教育のキーワード』（大月書店）を分担執筆。

教職課程センターについて

法政大学教職課程センターは、教職課程を履修する学生が、教員免許状を取得し、教員採用試験に合格するまでをサポートすることを目的に、2012年4月に発足。教職課程センターは、市ヶ谷・多摩・小金井の各キャンパスに相談室を設置し、教員を経験した相談員に相談できる体制がある。また、教員採用試験に向けた模擬面接や採用試験の論文指導など、様々な側面から学生への就職支援を行う。

【問い合わせ先】 法政大学教職課程センター(平日 9:30～17:30)

Tel 03-3264-5562 Email kkcsympo@ml.hosei.ac.jp